

令和7年度手づくり紙芝居コンクール  
【動画部門】審査講評

No	賞名	作品名	氏名(敬称略)	作品PR
1	最優秀賞	ぼくのようかい物語	キャバツが描けない私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完璧です。流行りの絵の応用でなく自分の絵がしっかり描けていて迫力満点。ようかいの合体で盛り上げて、最後にスッキリ。観衆に呼びかける終わり方も文句なし。演じ方を工夫するともっともっと良くなりますね。</li> <li>・誰にでもあるすき間に生まれる妖怪の数々が面白い。塗り方を工夫すればとても良くなりそうです。</li> <li>・画面いっぱい描いてくれました。ただ色が薄いのが残念でした。絵具で書いてみてはいかがでしょう。</li> </ul>
2	優秀賞	小鳥として生まれてきたわけは	田名部高校Lチーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小鳥の青色がとても綺麗。鳥の骨格はとても難しいのによく描けています。悲しみと癒しの両方を含んだ深いテーマを短く描けたところは本当にすごいと思います。</li> <li>・絵の構図も良く、上手い。語りと力配分が上手くできていたと思います。文も良く、頑張っていますね。</li> <li>・感動的なストーリーでした。作品に韻を持たせている点、落ち着いた色合いで描かれており良かった。淡々とした演技が感動を伝えてくれました。</li> </ul>
3	作品賞	本川のももたろう 本川の森の仲間たち	長沢小学校 てばこんと本川の子 どもたち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元を大切に思う心が溢れていますね。大きな栗の実がドンと落ちるところなど工夫がいっぱい。でも遠すぎてよく見えなくて残念。子どもたちも紙芝居もどちらも主役になれる演出を考えてみましょう。</li> <li>・一人一人とても頑張っていました。上級生が下級生の男子のお世話をする姿に感心しました。次の作品期待しています。</li> <li>・子どもたちが紙芝居の後ろに立っているの、顔が十分に見えない。撮影する際に子どもたちを入れて撮るなら、顔が映った方がいい。撮影方法として、最初に子どもたちを映し、紙芝居のみを撮る方法もあるかと思います。内容は良かったです。</li> </ul>
4	紙の博物館長賞	ぼくもしゃべりたい	ぼくしゃべり制作委員会 (青森県立田名部高等学校)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画面いっぱい丁寧に描かれたあったかい絵が物語に力を与えています。しゃべれないことがマイナスのように感じさせてしまうかもしれないので、主人公の「しゃべりたい」という願いがもう少し伝われば、よりハッピーな印象になりそう。</li> <li>・動物のポーズや動きに、頑張って努力のあとが見られ、よく描かれています。色も良く、いいテーマを選んでいきます。</li> <li>・上手に演じてくれました。声はよく出ています。キャラクターはオリジナルでしょうか？そつのない描き方ですが、面白みに欠けるように思います。</li> </ul>
4	紙の博物館長賞	虹色の花と本物の宝物	田名部高校 ラウエ斑点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完璧です。スリル満点の冒険や神秘的な絵が抜群に上手。喧嘩した後、寂しくなる気持ちもよく伝わって、やがて一人一人が虹色の花になる物語。多くの子どもたちに見せてあげたい。</li> <li>・ストーリーが、作者に語りかけている点が良かったです。マンガ的でとても見やすい紙芝居ですが、絵が画一的であり魅力に欠ける点が残念でした。</li> </ul>

No	賞名	作品名	氏名(敬称略)	作品PR
4	紙の博物館長賞	もち太の大ジャンプ	繁信 裕輔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しいお話で大好きです。黒豆が鳥に狙われるアイデアも面白い。構図の都合で紙芝居が少し小さく映っていたため、物語に集中できなくて損に感じました。</li> <li>・おもちの楽しい世界を描いています。もち好きにとってはほほえましい冒険です。ユーモアと動きのある絵です。</li> <li>・手持ちで演じたため、紙芝居がぐらぐらして、見にくかった点が残念でした。ストーリーは面白く構図も良かったのですが、色を塗ると見る方も楽しく見れそうですね。声はとても素敵でした。</li> </ul>
5	期待賞	ゆうきの未来 ～ゆうきが太鼓をたたくまで～	紙芝居で伝え隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳴物や字幕、舞台全体を見せる演出はいつもながら素晴らしい。でも今回は紙芝居が2割程度の役割。紙芝居を主役にしましょう。地域の子どもたちに絵で参加してもらうとか、楽しく広がるといいですね。</li> <li>・絵をもう少しアップにして欲しかった。もっと体験を絵にして伝えて欲しいと思います。</li> <li>・入所者全員で取り組んでくれており、いつも嬉しく拝見しています。ナレーター良かったです。絵がもう少し見たいですね。紙芝居で伝え隊のネーミングがいいですね。</li> </ul>
6	努力賞	あぶなかったね、ちいちゃん！	奥松 千恵子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご無事で本当に良かったですね。初めてなのに見事に完成させて素晴らしい。警察官の制服など、絵もしっかり描けています。今度は身近な小さな出来事も題材にしてみてください。</li> <li>・すごい世界を分かりやすく紙芝居にされましたね。面白く教育・防犯紙芝居になっています。</li> <li>・最初は、ミステリー的で面白い脚本だと思ったのですが、物語の展開が、最後になるにつれて平易になり、魅力が薄れてしまい残念でした。</li> </ul>
6	努力賞	遊園地 楽しいな	長沢小学校 伊藤 琴音	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵を描くのが大好きなのですね。可愛らしくてとても上手です。余白が多いので紙全体を使いましょう。いつも全員を登場させるのではなく、主人公のアップなど、変化をつけてみましょう。</li> <li>・一人で頑張りましたね。絵は半分くらいの大ささでいいですね。登場する人や動物は少なくてもいいですよ。</li> <li>・作品への熱い思いが伝わってきました。残念だったのは、画用紙が薄くべらべらして見にくかった点。1枚の絵に沢山の動物を盛り込んでくれましたが、結果小さくなってしまい少し見にくかったです。何を伝えたいのか、どの部分をクローズアップさせるか工夫してみてください。</li> </ul>
-	-	ほんの少しの勇気	田名部高校Lチーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なところで起きる大冒険物語。ワクワクしますね。「ほんの少し」でなく「特大」の勇気が必要そう。勇気の一步を踏み出すきっかけをしっかり見せてあげれば大感動物語になりそうです。</li> <li>・文と会話文が多く入るとリズムが生まれます。構図はいいですが、もう少し密に塗ったら良くなりますよ。</li> <li>・語りは個性があり良かったです。ストーリーも良く書いていました。絵はマンガ的であり見やすかったです。</li> </ul>

講評内容は本公募展の趣旨に基づくものであり、今後の制作活動の一助となりましたら幸いです。